

事業報告

第14期

自：2023年3月 1日

至：2024年2月29日

一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト

事業報告

1 法人の概況

(1) 設立年月日

平成22年3月2日

(2) 定款に定める目的

がん医療に携わる医療者の育成支援と、がん患者とその家族および一般生活者に対する啓発活動と情報提供を行い、がん医療の教育推進に貢献することを目的とする。

(3) 定款に定める事業内容（公益目的事業、収益事業等）

- i 各種媒体における情報提供事業
- ii 教育・啓発セミナー事業
- iii 専門家育成のためのプログラム開発支援事業
- iv 海外留学支援事業
- v 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(4) 会員（社員）の状況

社員数：14名（2024年2月現在）

(5) 主たる事務所・従たる事務所の状況

主事務所 東京都港区新橋2-20 新橋駅前ビル1号館4F

(6) 役員等に関する事項

役職	氏名
理事長	福岡正博
専務理事	津川浩一郎
常務理事	上野直人
常務理事	朴成和
常務理事	山本信之
理事	奥山裕美
理事	佐治重衡
理事	中村清吾
監事	金谷政徳

(7) 職員に関する事項

事務局長 小久保光昭

2 事業の状況

(1) 事業の経過及びその成果

1) Japan TeamOncology Program 2023 (J-TOP)

◆2023 年度プログラム運営のための会議開催

1. 第1回日米執行委員会 (2023/2/21)
2. 第2回日米執行委員会 (2023/3/14)
3. 第3回日米執行委員会 (2023/4/12)
4. 第4回日米執行委員会 (2023/5/9)
5. 第5回日米執行委員会 (2023/6/13)
6. 第6回日米執行委員会 (2023/7/11)
7. 第7回日米執行委員会 (2023/8/8)
8. 第8回日米執行委員会 (2023/9/12)
9. 第9回日米執行委員会 (2023/10/10)
10. 第10回日米執行委員会 (2023/11/14)
11. 第11回日米執行委員会 (2023/12/12)
12. 第12回日米執行委員会 (2024/1/9)
13. 第1回運営委員会/J-メンター会 (2023/2/28)
14. 第2回運営委員会/J-メンター会 (2023/3/28)
15. 第3回運営委員会/J-メンター会 (2023/4/25)
16. 第4回運営委員会/J-メンター会 (2023/5/23)
17. 第5回運営委員会/J-メンター会 (2023/6/27)
18. 第6回運営委員会/J-メンター会 (2023/7/25)
19. 第7回運営委員会/J-メンター会 (2023/8/22)
20. 第8回運営委員会/J-メンター会 (2023/9/26)
21. 第9回運営委員会/J-メンター会 (2023/10/24)
22. 第10回運営委員会/J-メンター会 (2023/11/28)
23. 第11回運営委員会/J-メンター会 (2023/12/26)
24. 第12回運営委員会/J-メンター会 (2024/1/24)
25. 広報委員会 (2023/6/20)
26. 広報委員会 (2023/7/25)
27. 広報委員会 (2023/8/22)
28. 広報委員会 (2023/8/22)
29. 広報委員会 (2023/9/26)
30. 広報委員会 (2023/10/31)
31. 広報委員会 (2023/11/28)
32. 広報委員会 (2023/12/26)
33. 広報委員会 (2024/1/30)
34. 広報委員会 (2024/2/27)
35. Project ECHO 実行委員会 (2023/3/2)
36. Project ECHO 実行委員会 (2023/4/6)
37. Project ECHO 実行委員会 (2023/5/4)

- 38. Project ECHO 実行委員会 (2023/6/1)
- 39. Project ECHO 実行委員会 (2023/7/6)
- 40. Project ECHO 実行委員会 (2023/8/3)
- 41. Project ECHO 実行委員会 (2023/9/7)
- 42. Project ECHO 実行委員会 (2023/10/5)
- 43. Project ECHO 実行委員会 (2023/11/2)
- 44. Project ECHO 実行委員会 (2023/12/8)
- 45. Project ECHO 実行委員会 (2024/1/4)
- 46. Project ECHO 実行委員会 (2024/2/1)
- 47. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2023/6/19)
- 48. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2023/7/17)
- 49. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2023/8/21)
- 50. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2023/9/11)
- 51. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2023/10/16)
- 52. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2023/11/20)
- 53. みんなでつくるがん医療プロジェクト定例会 (2024/1/22)

◆イベント事業

1. 第4回 GAP-J Workshop

Career Development Program for Team Members in the Field of Oncology

「質の高いチーム医療に貢献するためのチームの一員に必要なキャリア形成」をテーマにしたワークショップを、J-TOP チューターと共催企業の社員を対象に開催した。

日時：2023年3月19日(日曜)オンラインにて開催。

共催 スポンサーセミナー：

武田薬品工業株式会社、大鵬薬品工業株式会社、日本イーライリリー株式会社

協賛：中外製薬株式会社

参加者総合計：50名

J-TOP チューター32名(医師：11名、看護師9名、薬剤師12名)

企業オブザーバー5名、実行委員・発表者13名(医師7名、薬剤師3名、看護師3名)

2. チームオンコロジーセミナーオールジャパン 2023

～日本のみんなとつながるがんチーム医療～

日時：2023年5月20日(土) 10:30 - 18:30、21日(日) 8:30 - 15:30

会場：国立がん研究センター東病院 講堂

共催 スポンサーセミナー：

エーザイ株式会社、第一三共株式会社、ファイザー株式会社、日本イーライリリー株式会社

協賛：中外製薬株式会社

参加者：計34名 医師5名、薬剤師13名、看護師12名、助産師1名、

遺伝カウンセラー1名、理学療法士2名

実行委員・J-TOP チューター 24名、ゲスト講師7名、

オブザーバー6名 総合計 71名

3. The 2nd Team Science Workshop Strategies for Empowered Teams “Innovative Team Approaches to Rapid Changes”

～変動の時代、革新的なアプローチでチームをエンパワーする～

第1部：2024年1月28日(土) オンライン(ZOOM)開催

第2部：2024年2月10(土)、11日(日)、12日(月) 於：国立国際医療研究センター

参加者：50名(日本：33名、台湾：1名、韓国：1名、タイ：2名、フィリピン：8名、

ベトナム：3名、ナイジェリア1名、USA1名)

医師21名(日本15名、USA1名、フィリピン4名、ナイジェリア1名：オンラインのみ)

看護師12名(日本：9名、台湾：1名、フィリピン1名、ベトナム1名)、薬剤師15名

(日本8名、韓国1名、ベトナム2名、タイ2名、フィリピン2名)、

その他2名(日本1 遺伝カウンセラー、フィリピン1 Medical Laboratory Scientist)、

がんサバイバー：4名

USメンター11名(医師：4名、看護師：4名、薬剤師：2名、コンサルタント1名)

日本メンター17名(医師：10名、看護師：4名、薬剤師：3名)

日本チューター25名(医師：9名、看護師：7名、薬剤師：7名、その他2名)

海外メンター・チューター14名(医師：4名、看護師：3名、薬剤師：7名)

学生オブザーバー：1名、企業オブザーバー：15名、

総合計 137名

募集開始 9月15日 応募締切 11月30日

スポンサードセミナー(ランチョンセミナー)

エグザクトサイエンス株式会社、日本イーライリリー株式会社、ファイザー株式会社

協賛：中外製薬株式会社

4. Web 会議システムを活用した双方向のセミナープロジェクト「J-TOP Project ECHO ONE」

Project ECHO は MD アンダーソンがんセンターが、がん治療のより良い成果のため、取組んでいる重要な教育プログラムのひとつで、J-TOP は Project ECHO の日本の拠点として、実行委員会を設け、日本国内およびアジア諸国のがん治療の課題をテーマに情報提供を行っている。

プロジェクト名：J-TOP Project ECHO ONE (Oncology Education Network)

実行委員会：リーダー 医師 1 名、サブリーダー：医師 1 名

委員：12名(日本4名、台湾3名、フィリピン3名、米国滞在1名、ベトナム1名)

看護師6名(日本4名、台湾1名、海外滞在1名)

薬剤師：6名(日本4名、フィリピン1名、タイ1名)、公認臨床心理士1名

2023年度の実績：

第46回 ECHO ONE クリニック コミュニケーション・シリーズ

開催日 2023年3月20日(月) 19時～(日本時間)

テーマ 医療現場における行動経済学

メンター 平井啓(大阪大学大学院人間科学研究科准教授)

ケースプレゼンター 白井敬祐(Dartmouth Hitchcock Medical Center)

コメンテーター 山本理栄(自治医科大学附属病院)

ファシリテーター 麻生咲子 (静岡県立静岡がんセンター)
言語 日本語 (英語字幕付き)

47th ECHO ONE Clinic: Philippine Series Survivorship

Date: April 26, 2023, 9pm PH time, 10pm JP time and 8 am Houston

Theme: Handling Mental Health Issues of Cancer Patients and their Caregivers

Mentor: Joyce L Neumann PhD, APRN, AOCN, BMTCN (MD Anderson Cancer Center)

Case Presenter: Evelyn Dancel, RN (University of Santo Tomas Hospital)

Commentators: Binzee Gonzalvo, Cancer Survivor, Japan

Facilitator: Adrian Fernando, MD, (University of Santo Tomas Hospital)

Clerk: Warren Bacorro, MD, (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English with Japanese subtitle

48th ECHO ONE Clinic: Philippine Series Breast

Date: May 24, 2023, 16:00 Manila, 17:00 JPN, 23rd 22:00 Honolulu time

Theme: Breast Cancer - Recurrent advanced breast cancer

Mentor: Naoto Ueno, MD, PhD, (University of Hawaii Cancer Center)

Case Presenter: Miggy Carandang, MD, (University of Santo Tomas Hospital)

Commentator: Eugenio Emmanuel Regala, MD (University of Santo Tomas Hospital)

Facilitator: Nicola Raphaela Tison, MD, (University of Santo Tomas Hospital)

Clerk: JC Kenneth Jacinto, MD, (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English with Japanese subtitle

Sponsorship: Astra Zeneca

49th ECHO ONE Clinic: Philippine Series Lung

Date: June 28, 2023 9pm PH time, 10pm JP time and 8 am Houston

Theme: Role of Immunotherapy in Locally Advanced Non-small Cell Lung Cancer

Mentor: Tina Cascone, MD, MD Anderson Cancer Center (pending)

Case Presenter: Carl Jainar, MD (University of Santo Tomas Hospital)

Commentator: PH- Priscilla Caguioa, MD (University of Santo Tomas Hospital).

Tony Liang, MD (National Taiwan University)

Zhong Xing Liao, MD (MD Anderson Cancer Center)

Facilitator: JC Kenneth Jacinto, MD (University of Santo Tomas Hospital)

Clerk: Nicola Raphaela Tison, MD (University of Santo Tomas Hospital)

Language: English with Japanese subtitle

Sponsorship: Astra Zeneca

第 50 回 ECHO ONE Clinic: Communication Series

日時 : 7 月 7 日 金曜日 19 時 ~ (日本時間)

テーマ アサーティブなコミュニケーション

メンター 加藤 真樹子 (公認臨床心理士 大分県厚生連鶴見病院 診療部臨床心理科)

ケースプレゼンター 堀川 真由弥 (看護師 国立国際医療研究センター病院)
コメンテーター 山本 理栄 (自治医科大学附属病院)
ファシリテーター 麻生 咲子 (静岡県立静岡がんセンター)
言語 日本語 (英語字幕付き)

第 51 回 ECHO ONE Clinic:

日程 : 8 月 29 日火曜開催予定

テーマ 爪と皮膚の有害事象の管理

メンター 西澤 綾 (東京都・感染症センター駒込病院)

症例発表者 山本一将 (虎の門病院)

コメンテーター 三浦裕司 (虎の門病院)

ファシリテーター 古川孝広 (がん研有明病院)

言語 日本語

第 52 回 ECHO ONE Clinic

テーマ : 希少で重篤な免疫関連副作用の管理

開催日時 : 2023 年 9 月 28 日(木) 19 時~(日本時間)

メンター : 北野 滋久 (医師 公益財団法人がん研究会有明病院)

症例提示 : 宮本 一平 (医師 公益財団法人がん研究会有明病院)

ファシリテーター : 永井 義浩 (医師 京都府立医科大学附属病院)

コメンテーター : 三浦 裕司 (医師 虎の門病院)

言語 : 日本語 (AI による英語字幕が表示可能)

53rd ECHO ONE Clinic

Date and Time: October 25th, 2023, 9 p.m. in Japan,

Theme: The role of Medical Social Workers

Mentor: Takafumi Ono (Medical Social Worker, Miyagi Cancer Center)

Case Presenter: Yi-Siou Chen (Nurse practitioner, National Taiwan University)

Commentator: Mary Dev (MD Anderson Cancer Center, Senior Social Work Counselor)

Facilitator: Sakiko Aso (Nurse Shizuoka Cancer Center)

Language: Multi-language can be used using the Zoom Translator System

54th ECHO ONE Clinic (Taiwan Series)

Clinic Date: November 29th, 2023, Wednesday, 9PM in Japan and 8PM in Taiwan

Theme: The role of CDK 4/6 inhibitors& endocrine therapy in metastatic breast cancer patients

Mentor: Dwan-Ying Chang, MD, Medical Oncologist, National Taiwan University Hospital

Case presenter: Ming Jing Lee, MD, Medical Oncologist, National Taiwan University Hospital

Commentator: Yosuke Aoyama, MD, (Cancer Institute Hospital of JFCR, Japan)

Facilitator: Hsu Wu, MD, Medical Oncologist, National Taiwan University Hospital

Language: English using the Zoom Translator System

55th ECHO ONE Clinic

Date: December 14, 2023, 7 pm Japan

Theme: Dealing with patients to whom healthcare providers are annoyed about whether to avoid chemotherapies.

Mentor: Takashi Chinen MD, (Dept. of Clinical Oncology, Jichi University Hospital)

Case Presenter: Hideharu Yamada, MD, (Yamagata University Hospital)

Commentator: Takahiro Kogawa MD, PhD, (The Cancer Institute Hospital Of JFCR)

Facilitator: Hisashi Suyama MD, PhD, (Tottori University Hospital)

Language: Japanese only With English subtitles

56th ECHO ONE Clinic

Date: January 25th, 2024, 10 pm in Japan

Theme: Pharmacist's role in management of medication shortage during COVID-19 pandemic

Mentor: Kuo-Chan Wang, (Head of Pharmacy Administration, National Taiwan University)

Case Presenter: Tzu-Wei Liu (Pharmacist, National Taiwan University Cancer Center)

Commentator: Melvin J. Rivera (Clinical Pharmacy Specialist, MD Anderson Cancer Center)

Adriana Rivera (Formulary management pharmacist, MD Anderson Cancer Center)

Theresa Amapola Nunez (Clinical Drug Research Officer, Makati Medical Center)

Facilitator: Hsu Wu MD, (Medical Oncologist, National Taiwan University Hospital)

Language: English With Japanese subtitles

5.「みんなでつくるがん医療プロジェクト」

医療外の企業や団体との連携強化を図るため、企業や各種団体と連携する取り組みとして、「みんなでつくるがん医療プロジェクト」を実施した。

2023 年度の実績:

1)花王株式会社:テーマ「乾燥が気になるお肌に、毎日のスキンケアを」

日本癌学会セミナー開催

乾燥肌のスキンケア～がん患者さんへのケアをどうするか

日時:2023年9月23日(土) 11:50~12:40

場所:パシフィコ横浜 会議センター3F 304

セミナー動画 23年11月12日より24年9月末まで、JTOP サイトにて掲載

2. 東海電子株式会社

テーマ「息から読み取る、がん医療」

「もしもがんになったら:疑似体験から考える」ミニ講演とグループワーク

場所:静岡県富士市(新富士駅前会議室)

開催日程:2023年12月10日(日曜)

参加者:東海電子の役員6名 2グループ(各グループ3名)

ファシリテーター J-TOP チューター5名

6. Tutors Candidates' Education Program "EPOCH."

EPOCH は質の高いキャリア形成とチーム育成をサポートをするチューター候補のための教育プログラムです: Educational Program for TeamOncology Tutor Candidates to support High-Quality Career and Team Development

1st Team Science Oncology Workshop(2023年1月&2月開催)にて選抜されたチューター候補13名(医師6名:日本4名、フィリピン2名、看護師3名:日本1名、台湾1名、フィリピン1名、薬剤師4名:日本2名、タイ2名)を対象に実施した。

EPOCH Program 2023 Schedule (2023年6月~2024年1月)

- | | |
|--|-----------------------|
| 1. Icebreaking and Self Introduction | June 23, 9pm JST |
| 2. Mission & Vision, SMART Goal | Jul. 29, 8am JST |
| 3. Mission & Vision, SMART Goal (Part2) | Aug. 19, 9pm JST |
| 4. Leadership and social sensitivity | Sep. 22, 8pm JST |
| 5. Career Development | Oct. 13, 9pm JST |
| 6. The difficulties of writing IDP Sheet | Nov. 18, 8am JST |
| 7. Graduation and Self-reflection | Jan 20, 2024, 8am JST |

■ ASCO breakthrough J-TOP のセッションに EPOCH メンバーを招待した。

■ Promoting Team-based, Patient-centered Care in Asia

ASCO Breakthrough Meeting

Friday, August 4 11:30 am - 12:30 pm

PACIFICO Conference Center Level 2 VIP Room

■ J-TOP 2023 EPOCH Meeting

日時: 2023年8月4日金曜 午後5時~8時

会場名: TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜駅新高島

2F「カンファレンスルーム 2D」

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 5-1-1 横浜グランゲート

1)-2 Web site: TeamOncology.com

1)-2-1 会員数およびサイト総ページビューほか

1. TeamOncology.Com 会員数:

4,073名 (医師1,041名 看護師938名 薬剤師1,018名

その他(その他の職種、患者・一般 1,076名) 2024年3月末現在

2. サイト総ページビュー: 月間約 30,000~50,000 (YouTubeを含む)

3. 制作Webページ総数 (TeamOncology.Com サイトのみ): 約500ページ以上

4. 掲示板投稿数: 月平均5件 毎月担当チームが投稿者にコメントを掲載。

1)-2-2 コンテンツ

1. ミブク X(旧 Twitter) および Facebook ページ 『Cancer がん 癌 No More』によるチーム
オンコロジー情報の発信

2. メールマガジンによるチームオンコロジー情報の発信

3. Facebook グループなどの SNS サイトやメルマガリストを活用した、がん医療者のコミュニティ構築

4. 掲示板活性化のための J-TOP チューター新当番制（実行+サポートチーム制）の構築と運用管理
5. 掲示板活性化のための新カテゴリ造設制度（チューターのやりたい事支援企画）の構築
6. エッセイ『チームオンコロジーへの道』 J-TOP メンター・チューターによる、「チームオンコロジー」と「J-TOP」に関するエッセイを綴るコーナー
7. YouTube の各種動画コンテンツを活用したオンデマンド学習「TeamOncology Video Lectures」
8. チームオンコロジーセミナー2023 開催各種 Web ページ制作
9. The 2nd Team Science Workshop 開催各種 Web ページ制作
10. Project ECHO ONE の開催案内・各種 web ページ制作
11. みんなでつくるがん医療プロジェクト web ページ制作
12. 新たなチューター紹介ページの制作
13. チューター・メンター向け限定サイトの作成
14. TeamOncology.Com サイトのアクセスログ および各種サイトの解析（毎日）、それらの解析に基づく月間報告作成

1)-2-3 衛星サイト7サイトの現状(2024年2月末現在)

1. Facebook ページ「Japan TeamOncology Program」「Cancer がん 癌 No More」（ファン数 5,500 閲覧者数（週間） 約 2,000~3,000 人）
2. Facebook グループ「Japan TeamOncology Program グループ」（メンバー数 800 人）

1)-2-4 広報委員会

1. 広報主催「なんでも交流の集い」（毎月第1土曜日 20時から開催）
2. 広報主導で各イベントにおいて SNS での発信などを実施した。

1)-2-5 web コンテンツ委員会

1. 広報委員会から新たな web サイトコンテンツ企画運営チームを立ち上げた。
2. コンテンツ委員会は 2023 年度に 6 つのコンテンツプランを開始した。
 - 1) がん患者さんご家族のためのお料理教室
 - 2) がん関連あるある情報
 - 3) J-TOP な人たち
 - 4) J-TOP ラジオ
 - 5) TeamScience WIKI
 - 6) スペシャリストに聞いて見よう

2) My Oncology Dream (MOD) Project

- ◆MOD ホームページについて、web サイト継続のためのメンテナンスをおこなった。

3) Japan Health & Oncology Practice Enhancement (J-HOPE) Program 2023

◆プログラム運営のための会議開催

1. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2023/8/8)
2. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2023/8/23)
3. J-HOPE ファカルティ会議：最先端がん治療セミナー(2023/11/5)
4. PEP 実行委員会（3月より2月まで月1回 第3木曜日に開催）

◆イベント事業

1. 最先端がん治療セミナー2023「究極のがんマネジメント：

Supportive Care～QOL改善と治療効果の向上を目指して」

目的：本セミナーは、医師、薬剤師、看護師などの医療者がそれぞれの視点で患者を的確にアセスメントし情報共有した上で、エビデンスの有無やレベルを考慮しながら個々の患者に最適な支持療法を実践するためのチーム対応法を全員で議論し、実臨床につなげる。

日程：2023年11月25日(土)－26日(日)

会場：東京大学医科学研究所附属病院8階 大会議室

共催 スポンサーードセミナー

アストラゼネカ株式会社、大鵬薬品工業株式会社、メルクバイオフーマ株式会社

協賛：中外製薬株式会社

参加者：40名（医師12名、薬剤師9名、看護師15名、管理栄養士2名、理学療法士1名、学生1名）

ファカルティ・講師、ゲスト講師19名、共催企業10名、総合計69名

2. 医療者がリードするがん患者の患者力向上のための啓発プログラム

(PEP: Patient Empowerment Programs Led by Cancer Care Providers)

日本癌治療学会・ファイザー株式会社からの助成金を活用して、2023年度は下記の3つのプロジェクトを実施した。

1) 地域別「医療者がリードするがん患者力ワークショップ」

【2023年度実施地域と開催日程および参加者内訳】

第1回東北 7月2日(日)開催(竹田総合病院、福島県会津若松市)

参加者19名(医師1名、看護師4名、薬剤師7名、理学療法士4名、心理士2名、MSW1名)

第2回東北 7月9日(日)開催(総合南東北病院 福島県郡山市)

参加者21名(医師5名、看護師3名、薬剤師7名、理学療法士4名、作業療法士1名、MSW1名)

第3回北海道 7月15日(土)開催(勤医協中央病院、北海道札幌市)

参加者15名(医師3名、看護師5名、薬剤師2名、理学療法士1名、言語聴覚士1名、栄養士2名、MSW1名)

第4回大阪 11月12日(日)開催(大阪府済生会野江病院 大阪府大阪市)

参加者15名(医師3名、看護師7名、薬剤師4名、MSW1名)

※参加者にアンケート(開催前、開催直後、開催3ヶ月後)を実施し、その内容を統計分析する。結果は2024年度日本癌治療学会にて報告する。

2) 「第5回医療者がリードする患者力向上ワークショップ」

目的：医療従事者が患者力の重要性に気づき、患者力を引き出すための知識とスキルを

身につけ、実臨床に即した教育（プラクティカルサイエンス）の普及をおこなう。結果として患者の治療効果をあげる成果につなげる。がん診療に従事する医師、薬剤師、看護師、その他の医療職が、(1)患者力とは何か、(2)患者力を引き出すために必要な知識とスキルは何かを、参加型ワークショップを通じて学ぶ。

Part1：2023年11月19日（日）10:00-15:30 オンライン(ZOOM)にて開催

Part2：2023年12月17日(日) 10:00 -17:00 国立国際医療研究センター大会議室5階

ランチョンセミナー共催：アストラゼネカ株式会社、エグザクトサイエンス株式会社、

協賛：中外製薬株式会社

参加者：20名（医師4名、看護師10名、薬剤師4名、MSW1名、臨床宗教師1名）

実行委員：8名、講師：3名、オブザーバー参加：5名 総合計36名

3) 広報活動（webサイト、学会発表、プレスリリース）

①webサイトの更新

参加者のみならず広く医療者を対象にした啓発ビデを作成し、サイトに掲載した。活動内容について、webに掲載した。

②学会発表：

1) 第16回日本緩和医療薬学会シンポジウム 2023年5月27日

「患者力を引き出すために薬剤師ができること～みんなで学ぼう

patients empowerment programについて～」をテーマに実行委員が講演した。

2) 第28回日本緩和医療学会学術大会 2023年6月30日-7月1日

6月30日パネルディスカッション11「患者力を身体症状マネジメントにつなげる」

7月1日の交流集会11「患者力がリアルワールドACPのキーワード！」

にて実行委員が登壇した。

3) 第61回日本癌治療学会学術集会 2023年10月20日（金）

2022年度日本癌治療学会/ファイザー（株）による、「がんの医療者への教育助成プロジェクト」の発表セッションにて実行委員長が講演した。

4) 第38回日本がん看護学会交流集会19 2024年2月25日

「看護師ができる患者力の視点を生かしたアドバンスケアプランニング」に

実行委員が登壇した。

③プレスリリース

2023年10月16日「自分らしい人生を生きるために必要な「患者力」の向上を。

「がん医療者がリードする、がん患者の患者力向上のための啓発プログラム」

活動の軌跡 をヘッドラインにしたプレスストーリーをPRタイムズを通じて

報道関係者（主要新聞社、NHK民放各社テレビ局、雑誌社）にプレスリリースした。

4) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：円)

区分	第12期	第13期	第14期
	自：令和3年3月1日 至：令和4年2月28日	自：令和4年3月1日 至：令和5年2月28日	自：令和5年3月1日 至：令和6年2月29日
売上高合計	38,570,515	65,901,030	52,324,559
当期純利益合計	2,646,984	8,888,971	△9,557,111
総資産	33,273,973	49,710,952	38,924,710
純資産	24,582,359	33,471,330	23,914,219

3. 社員総会、理事会等に関する事項

i. 社員総会、理事会

開催日	会議名	決議事項等
2023年5月7日	社員総会	2022年度決算報告 2023年度予算報告
2023年5月7日	理事会	2022年度決算報告承認 2023年度予算報告承認

4. 役員等の兼務の状況

区分	氏名	兼務する他の法人名	兼務内容	備考
理事長	福岡正博	和泉市立総合医療センター	名誉総長	医師
専務理事	津川浩一郎	聖マリアンナ医科大学	教授	医師
常務理事	上野直人	ハワイ大学がんセンター	センター長・教授	医師
常務理事	朴成和	東京大学医科学研究所 附属病院	教授	医師
常務理事	山本信之	和歌山県立医科大学	教授	医師
理事	奥山裕美	昭和大学先端がん治療 研究所	兼任講師	薬剤師
理事	佐治重衡	福島県立医科大学	主任教授	医師
理事	中村清吾	昭和大学病院ブレスト センター	センター 長	医師
監事	金谷政徳	銀座スフィア税理士 法人	代表	公認会計士

貸借対照表

令和 6 年 2 月 29 日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	38,924,710	【流動負債】	15,010,491
現金及び預金	38,924,710	未払金	14,902,905
		未払法人税等	70,000
		前受金	0
		預り金	37,586
		負債の部合計	15,010,491
		純資産の部	
		【株主資本】	23,914,219
		利益剰余金	23,914,219
		その他利益剰余金	23,914,219
		繰越利益剰余金	23,914,219
		純資産の部合計	23,914,219
資産の部合計	38,924,710	負債及び純資産合計	38,924,710

損益計算書

自 令和 5 年 3 月 1 日 至 令和 6 年 2 月 29 日 (単位：円)

【売上高】		
寄付金収入	32,625,663	
共催費収入	19,968,896	
売上高合計		52,324,559
売上総利益金額		52,324,559
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計		61,812,026
営業利益金額		-9,487,467
【営業外収益】		
受取利息	418	
営業外収益合計		418
経常利益金額		-9,487,049
税引前当期純利益金額		-9,487,049
法人税, 住民税及び事業税		70,062
当期純利益金額		-9,557,111

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 5 年 3 月 1 日 至 令和 6 年 2 月 29 日

(単位:円)

科目	金額
TeamOncology.Com Web サイト	1,101,936
オンライン会議年間使用料	112,244
Project ECHO 運営準備費	811,510
クレジット決済費用	132,398
EPOCHProgram 運営経費	1,112,213
MOD Web 経費	49,658
1st Team Science Workshop	157,500
2nd Team Science Workshop	20,343,786
チームオンコロジーセミナー 2022	4,245,925
みんなで作るがん医療プロジェクト	269,734
JTOP 広報経費	161,606
謝礼	3,557,713
事務局運営費 JTOP 運営費	12,870,000
PEPWorkshop 運営費	2,153,987
J-HOPE Web サイト	36,590
PEP 事務局運営費	2,178,000
PEPweb サイト運営費	606,218
最先端がん治療セミナー 2023	3,335,580
CAP-J_Workshop 運営経費	1,167,206
JME2020 運営費	2,160,653
社団広報関連費 Web 年間	33,264
事務用消耗品費	92,730
支払報酬	56,144
社団法人事務局	21,845
事務局運営費 社団運営費	3,300,000
会計事務費	389,000
事務局長報酬	397,586
租税公課	957,000
販売費及び一般管理費合計	61,812,026

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし。

(3) 引当金の計上方法
該当なし。

(4) リース取引の処理方法
該当なし。

(5) 消費税等の会計処理
消費税及び地方消費税の処理方法は税込み処理によっている。

2. 担保に供している資産
該当なし。

3. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位：円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
—	—	—	—
計	—	—	—

4. 保証債務
該当なし。

5. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
—	—	—	—
計	—	—	—

6. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

種類	監事	
法人等の名称	銀座スフィア税理士法人	
住所	東京都中央区銀座 4-10-3	
事業の内容又は職業	税理士法人	
議決権の所有割合	—	
関係内容	役員の兼務等	監事
	事業上の関係	税務会計顧問契約
取引の内容	報酬の支払	
取引金額（円）	704,000	
科目	—	
期末残高（円）	—	

7. 重要な後発事象

該当事項なし。

8. その他

該当事項なし。

附属明細書

1. 固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
		—	—	—	—
計		—	—	—	—

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

3. 貸借対照表及び損益計算書の内容を補足する重要な事項

特に記載すべき事項はありません。